



今号の内容

- ・「総会・勉強会・懇親会のお知らせ」
- ・「総会・勉強会・懇親会・ミニコンサートの日程」
- ・50号発刊を記念して
札幌医科大学 櫻井晃洋先生
独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 今井常夫先生
信州大学 山崎正則先生
- ・会員の声
- ・会費納入のお願い
- ・So-Tomo ミニコンサートの概要
- ・総会・勉強会・懇親会 申込書

むくろじの会「総会・勉強会・懇親会のお知らせ」

黄色いコスモス



昨年の勉強会の様子

29年度の総会のお知らせです。

21年の10月に会を立ち上げてから約7年半になります、早いものですね。会員の皆さんの数も少しずつ増えて退会された方達もふくめると100人を越しました。

まだ、会員にはなっていませんがお問い合わせをいただいたり、会報の購読の申し込みをされる方達が最近多くなりました。

申し込みをしていただいた時にちょっと立ちいって患者さんなのかどうか伺ってみるのですが、患者ですとか、妻が患者ですとかお返事を頂けるのがうれしいです。「是非会員になってくださいね」な一んで、メールに話しかけています。

会報は今回、50号となり、記念号として発行する事になり会員の皆さんにも一言書いていただこうとお願いしました。いろいろなお話を聞かせていただき、ぐっと来る話もありました。皆さんも丁寧に読んでみてくださいね。

「総会・勉強会・懇親会」の話から離れてしまいましたが、大事な議題などありましたら委任状が必要となりますので出席されない場合は、委任状を提出してください。

まだまだ寒い日が続いていますが、皆さんにお会いする頃には桜の花も咲き緑も少しずつ鮮やかになってくると思います、楽しみにしております、是非、お出かけください。

むくろじの会総会：4月15日（土）午後、松本市浅間温泉 みやま荘にて

総会・勉強会・懇親会・ミニコンサート日程



4月15日（土）

	時 刻	内 容
J R 松本駅集合 (アルプス口)	12:10	・ 役員が松本駅アルプス口で迎え ・ 宿舎のバスが迎え
受付 (ロビー)	12:00～13:00	・ 参加者の確認 ・ 年会費等の徴収 ・ 名札を渡す（各人で記入）
総会（会議室）	13:00～13:30	・ 前年度事業、決算報告等 ・ 今年度事業、予算等提案、質疑応答
勉強会（会議室） 質疑応答	13:30～14:40	札幌医科大学 櫻井晃洋先生 「MEN について」 東京女子医大 片井みゆき先生 「女性と健康」 信州大学 山崎雅則先生 「高血圧のはなし」
フリートーク (会議室)	14:45～15:55	・ 小グループに分かれて自己紹介、情報交換、 懇親等
ミニコンサート	16:00～17:00	・ バリトンとピアニストによるミニコンサート をお楽しみください。(内容は別紙)
J R 松本駅送り	17:00	・ 日帰りの人は解散
自由時間(入浴など)	17:00～18:30	・ 宿泊の人は各部屋に入り、夕食懇親会まで入浴 など、ゆっくりおすごしください。
夕食懇親会 (宴会場)	18:30～20:30	・ 大いに飲んで食べて話して、懇親を深めましょ う。
二次会 (和室)	21:00頃～	・ まだ話し足りない人、飲み足りない人は ご参加を。

★ 会場

「みやま荘」 長野県松本市浅間温泉 3-28-6 Tel:0263-46-1547 FAX:0263-46-7442

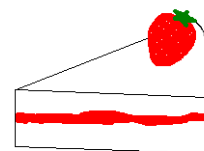
http://miyamaso.org/header_navi/access

松本 IC より車で 20 分 JR 松本駅からバスで 20 分

★ 会費(宿泊・夕食懇親会に参加する人)

- ・ 宿泊する人 1泊2食 12,000 円
- ・ 夕食のみの人 6,000 円





会報 50 号発刊おめでとうございます。第 1 号を信州大学の研究室のコンピュータに向かって書いていたのはちょうど私が加齢総合診療科（内分泌内科）から社会予防医学講座（遺伝医学）に異動した 2003 年の秋のことでした。その翌年あたりに現在の会長さんや役員の方を私の研究室にお招きして、ケーキとお茶を前に患者会でも作ったら？と口説いたのを今でもよく覚えています。

札幌に移ってからも間もなく 4 年になりますが、本当に月日のたつのは早いものです。私が MEN という病気に取り組むようになって 20 年あまり、その半分は「むくろじ」とともにあったことになります。私の本棚には今も、無患子と書かれた小皿の上にむくろじの実で作った羽根が置かれています。

松本にいた時には毎年の総会に遠方から来られる方は大変と思っていましたが、今では自分ももっとも遠方組のひとりになってしまいつつも、毎年の皆さんの活動に加わるのを楽しみにしています。ますます発展してください。他の患者会と一緒に活動も広げていきたいですね。

最後に宣伝：8 月 4 日（金）、5 日（土）に札幌市で第 23 回日本家族性腫瘍学会学術集会を開催します。患者会のブースエリアも用意しますし、患者会の会員の方々は参加費無料です。ぜひ皆さん夏のさわやかな札幌においでください。

MEN2 の甲状腺髄様癌発症前の予防的手術について



今井常夫

独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院

むくろじ 50 号発刊おめでとうございます。患者さんご家族が継続して会報を発行されていること、関係者のご努力に敬意を表します。

医療関係者からの情報提供はいろいろありますが、患者さんご家族からの情報はなかなか得がたいもので貴重だと思います。これからもできるだけ長く継続されることを祈念いたします。

さて私事ですが、この原稿を書いている本日（2017 年 1 月 28 日）、孫が生まれました。4 年前の長女の出産に次いで今回は次女が出産しました。わたしにとって 2 番目の孫ですがはじめての男の孫です。予定日を数日過ぎて心配していましたが無事生まれてきて安堵しました。出産前に次女と話していたのですが、日本では健康保険法に基づく保険給付として出産育児一時金制度というものがあり、現在は 42 万円が支給されるとのことです。健康保険や国民健康保険などの被保険者またはその被扶養者が出産したとき、出産に要する経済的負担を軽減するため、一定の金額が支給される制度です。

このことを聞いて、MEN2 の甲状腺髄様癌発症前の予防的手術もこのような制度があれば良いのと思いました。遺伝性乳がんのことを米国の女優アンジェリーナ・ジョリーが公表してから、日本においても遺伝性乳がんの予防的手術についてマスコミで大きく報道されました。

同時に予防的手術は疾病を発症していないから健康保険での手術は認められず、すべて自費となることもマスコミは取り上げていました。

MEN2 の甲状腺髄様癌発症前の予防的手術は欧米では 2001 年にガイドラインが発行されてから多く実施されているようですが、日本ではほとんど報告がありません。症例数はわかりませんが、日本で実施された予防的手術の場合は発症前でも甲状腺髄様癌という病名をつけて保険診療で行われたものがあると思います。しかしアンジェリーナ・ジョリーのことが話題になってからは、このようなことが大変むづかしくなっています。

日本の保険診療は病名がないと支給されないという原則があります。一方で病名さえついていれば、内容としては予防的治療でも支給されている現実があります。たとえば乳がんの手術後に行う補助療法は、再発予防を減らすために行う治療で、たとえこの治療を受けなくても再発しない患者さんも多く含まれている治療です。病気を持っていないくても、最近乳がん罹患したということがあれば予防的治療は保険給付の対象となります。乳がんに限らず補助療法というのはこのような側面があります。すなわち病名さえ確定していれば、日本の健康保険は非常に広い範囲をカバーするという寛大な制度と言えます。

MEN2 の甲状腺髄様癌発症前の予防的手術は、残念ながら甲状腺髄様癌という病名が確定しないので、現行の制度では健康保険の給付対象となりません。病名がなくても支給を可能にするひとつの手段が出産育児一時金制度のようなものです。健康保険法第三節の「傷病手当金、埋葬料、出産育児一時金及び出産手当金の支給」の第百一条に「被保険者が出産したときは、出産育児一時金として、政令で定める金額を支給する」と記載されているため、出産は病名がなくても健康保険から一時金を支給することができるのです。このように健康保険法の中に「遺伝性疾患の予防的手術に政令で定める金額を支給する」ということが入れられれば、MEN2 の甲状腺髄様癌発症前の予防的手術においても健康保険からの支給が可能になります。

健康保険法に遺伝性疾患の予防的手術に支給するという文言を追加する活動に患者会からの要望というのは大きな力になると思います。複数の患者会からの要望も必要だと思いますし、医療者や政治家の活動も必要です。簡単なことではないと思いますが、関係者が力をあわせて進められればと思っています。

むくろじ50号の発刊に寄せて

信州大学 山崎正則



会報「むくろじ」50号発行おめでとうございます。この機会にホームページで初号からの会報をみましたが、櫻井先生を中心に、医療スタッフやMEN患者さんとそのご家族の手で「むくろじの会」を着実に作り上げてきたのだと強く感じました。

私の本会への入会は2012年か2013年だったと思います。入会後から徐々に私のMEN診療も変化してきました。櫻井先生の後任として多くのMEN患者さんを診察させていただくことになり（もちろん、本会に加入されている方もおられます）、遺伝カウンセリングの機会も増えました。患者さんそれぞれが持っておられる様々な背景にも思いを巡らせた診療することで、より自然に患者さん側からの視点で物事を考えることができるようになったように思います。

多くの MEN 患者さんとそのご家族の存在、そして本会の存在が、医師としての成長を支えてくださっていることを実感し、たいへん感謝をしております。これからも、本会がますます発展いたしますよう微力ながらもご支援させていただく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。



50号の発刊を記念し、会員の声を集めてみました。



東京 O. S.

MEN1 です。むくろじの会に加入して、私は改めて自分ばかりではない、他の人も数回手術されている方があり、仲間がこれだけいるのだと思いました。自分ひとりではないと気付かされて、大きな勇気ができました。症状の悩みごと等いろいろ安心して聞いてもらえる事がほんとうにうれしかったことを思いました。

これが患者会、むくろじの会の良さだと思つづく思いました。

安心して語られる機会がもっと継続し、充実されていかれるようにと思っております。

私は最近主治医が転勤されて次の主治医に変わりました。
そのため 1 カ月の入院検査を行いました。病室に会報を持っていき研修医、医学生にもむくろじの会を紹介しました。その後、主治医の先生がむくろじの会報を見せてくださいと、持っていきました。先生方のカンファレンスでむくろじの会が少し話題になったのかと思います。先生がむくろじの会に興味を示してくれているのだと思いました。思わずうれしくなりました。少しでも、もっとむくろじの会を皆さんと共有したいと思いました。

大阪 N



櫻井先生始め事務の方々、大変お世話になりありがとうございます。
毎回参加したいと思いつながら、体調などにより出席できないのが残念です。
また、関西方面で行われる時には、必ず参加させていただきます。

私は MEN1、遺伝性の患者です。30 年前、運良くすばらしい先生にお会いして、まだ、この病気が 2~3 人の時、もしかしたらと先生が指摘され、その後もこの病気を良く研究していられる先生にあたり、今は関西電力病院の今村先生にお世話になっております。

遺伝性という事でまず、息子が発病し、20 代の若さでこの世を去り、私は息子を私の遺伝で死なせてしまい、その罪悪感で「希望が叶い医者として、はりきって生きていた息子がどんなに辛い思いでこの世を去ったのかを思い」私も死のうと何度も思いました。

その後娘も遺伝している事がわかり脾臓の手術をしました。私は、娘もと「どん底」の日々を過ごしました。娘は、自分自身のことよりも私の事を思つてか、気丈にも悲しい顔ひとつ見せず毎日を明るく過ごしています。

しかし、今の体では体力が持たないとわかり今は仕事を止め、自分のスキルをあげ体力に合わせ、

病院に行きながらも、生活ができるようにと学校に行き、いろいろな国家試験を取りつつ勉強をしています。母娘とも、これからも何度も手術を受ける事となるでしょうが、今は、心静かに前に向かって明るく、強く、生きて行こうと考えています。

かえでのはっぱ



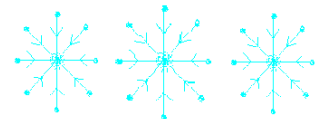
むくろじの会の皆さまお元気でいらっしゃいますか？
私は元気で仕事も楽しくやらせていただいています。

MEN1 とお付き合いするようになって 40 数年、イヤになってしまう時が何度となくありました。でも今まで元気に生活ができ、仕事もきちんとできています。ほんとうにありがたい事だと思っています。

この様に生活ができているのも櫻井先生、山崎先生他、MEN の病気に関わってくださっていただいた看護師さん他の皆さまのおかげだと思っています。

みなさま、ほんとうにお世話になって、ありがとうございます。まだまだ、これからもお世話になると思います。これからが長いかもしれませんが、末長くお願いします。

むくろじの会の皆さまもお元気で、時には病気の事など忘れて楽しい気持ちで生活ができる様に頑張りましょう。



秋田の「かまくら」

平成 28 年にむくろじの会に入会し福島勉強会に初めて参加しました。

会場にはたくさんの方が集まりとてもびっくりしました。

先生方のお話を直に聞き、懇親会では皆さまと和やかなお話をさせていただきました。

同じ悩みを持っている方がたくさんいる事と MEN2 型という病気がある事も知り驚きました。

参加する事を迷っていたのですが、皆さまにお会いできて本当に良かったと思いました。

現在、兄、私、私の娘 2 人、妹、妹の息子が長い間この病気と向き合っています。

先の事を考える時、MEN の病気が 1 日も早く「指定難病」となりますようにと思っています。

むくろじの会報が届くたびに役員の方々への感謝の気持ちでいっぱいになります。

これからもよろしくお願いします。

埼玉県 ひよこ



今、数か月振りの検査で訪れた病院で書いています。

約 7 年前、父が MEN1 型の遺伝子を持っていると告げられ 5 年前に何気なく受けた人間ドックで、私に脾腫瘍がみつかりました。

直後に手術を受けましたが、それまでも、それから、症状を感じる事もなく育児、仕事に趣味と元気に生活しているつもりでいます。

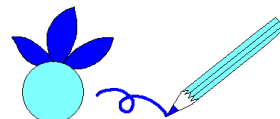
それでも通院の度、病気と向き合う度、つらくなります。

主治医に渡された冊子をきっかけにむくろじの会に参加させていただき、周囲にはなかなか話せない思いが共有出来てうれしいです。

今後を思うと不安は絶えませんが、出来る限り楽しみながら日々を送りたいです。

埼玉県 ER

人と人がつながる事ができる「むくろじ」。
この場所に感謝し大切にしたいと思っています。



50号に寄せて 空木 (うつぎ)

患者会より「むくろじ」を発行することになってから、原稿にイラストを添えさせていただいています。イラストを描く前に、寄せられた原稿を読ませていただきます。

同じ病気を持っていても、みなさんそれぞれの経験談は異なり、毎回、驚かせられ、考えさせられます。

私は MEN1 型です。MEN だと解るまで、私にとって病気は、怪我や風邪のように一過性でいずれは治るもの、という認識でした。

MEN を知り、病気と共に生活していくことを知りました。今は、病気とつきあいながらも、働き、日常を送れることに感謝しています。

「むくろじ」が少しでも患者さんたちの力になりますように。

会報「むくろじ」は患者と家族の拠りどころ 患者家族 S.

時々、むくろじの会が発足した当初の事を思い出します。

約 8 年前、患者と家族、医療関係者が集まって松本城でお花見をし、その夜安曇野の「ホリデー湯四季の里」で懇親会を開きました。その時、当時信州大学におられた櫻井先生より患者会の立ち上げについて熱心に助言をしていただきました。その場で役員を内定し、通院ごとに病院で会合し、会の名称や目的、会費、規約等を決めて「むくろじの会」の発足にこぎ着けたように記憶しております。

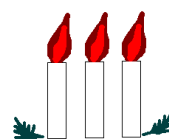
発足以来、毎年開催されている総会、勉強会、懇親会は患者と家族、医師や医療カウンセラーの方々等との貴重な情報交換や交流の場です。

特に MEN 患者の診療に携わって下さる先生方が休日に会場にかけつけて、最新の診療情報等を伝えて下さったり、患者と家族の話に耳を傾けて下さることに感謝しています。

そして会報「むくろじ」は全国の患者と家族をつなぐ心の拠りどころです。

50 号まで発刊できたのは、皆さんの熱い思いの賜物です。

今後「むくろじ会」は何を目指すのか。何よりも一人でも多くの MEN の患者と家族に、そしてこれから診断を受けるかも知れない患者さんの元に会報が届くことを願っております。



M. K子

ごぶさたしております。お元気ですか。

昨年はお陰さまで同じ患者であるUさんとお話しする事ができ、たくさんの情報交換をすることができました。ありがとうございました。子供は学校へは行けていませんが、今年中学生になります。病気の事をどう伝えるか、ずっと悩んでいましたが、私と同じ薬を飲んでいる事でわかっていたようです。

「実は、ママと同じ病気なんや・・・」と言ったら

「知ってるよ～ 別にいいよ～」と言っていました。

子供は、いつの間にか私より強くて優しい子に育っていたようです。

病気がわかり、今までむくろじの会の皆さまや会報に支えられてきました。本当にありがとうございます。近況になってしまいましたが、これからも会報楽しみにしています。

寒いのでお体に気をつけてください。

山口 ワットソニア

ご無沙汰しています。

毎日、自宅から徒歩3分位の所に、クリニック併設のフィットネスクラブがあり、お昼から3時間位筋力トレーニングに励んでいます。それでも食事などちょっと油断をすると血糖、ヘモグロビンA1Cなどがすぐ上がります。イヤになる事もあり、でも、気持ちを切り替えて頑張っています。骨粗鬆症の検査も2年前と変わらず現状維持です。やっぱり運動が大事ですね。これからもよろしくお願いします。

静岡 H. K

お手紙ありがとうございます。

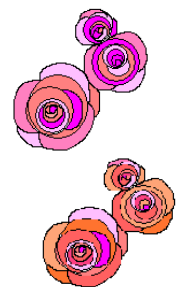
皆さまのご尽力に感謝します。

松本での総会、福島勉強会へと参加させていただきました。

寒い中皆さんの近況はどうかなあと思い浮かべます。

私はまだ回数が浅いので聞き足りないと思います。

1つ感じた事です、皆さん1人1人病歴や薬の状況を表示していただけるといろいろな状況を直接聞く事ができると感じました。(もちろん本人のご意思の元ですが) この会に参加していらっしゃる方は、他の方はどんな状況でいるのかと思っているのではないかと思います。皆さんの意見を聞いた上でできないかと思っています。



腰を痛めていたので時間がなく取り急ぎ書きました。失礼をお許してください。

松本へ一緒に出掛けました長男も結婚をしまして、6月に子供が生まれる事になりました。

相手の方にも病気の話を理解してもらえて良かったです。これからも見守っていかねばと思います。

東北の花

先生方、むくろじの会の皆さんに支えられ、MEN とうまく付き合いながら生活できている事に感謝しています。

これからも、笑顔で元気に生きる姿を子供に見せる事を心がけていきたいと思います。



長野 I. S.

20 数年前、入院中に多発性内分泌腫瘍症という病気だと分かりました。

それも遺伝性、子供たちの顔が浮かんですごい不安になりました。

入院中に MEN の患者さん 2 人と知り合ったので、退院後も連絡を取り合い相談に乗ってもらったりしていたので 1 人きりではなかったのですが病気の事をもっと知りたいと思っていた時、櫻井先生から「ニューズレター(仮)」が届きました。

本当の事を知るのは怖かったけれど子供の為にも知っておくべきだと思い何度も読み直しました。MEN の仲間の投稿も載っていてうれしかったです。

そのうちにニューズレターを通じてお花見をする事になり第 1 回目は伊那市の高遠城址公園へ行き、満開の高遠コヒガン桜を見ました。きれいだった。2 回目は長野市の善光寺へ行き、3 回目は松本市の松本城へ行きました。3 回目は勉強会もあり宿泊懇親会もしました。

北海道、山梨県、京都、三重県、長野県、愛知県等から参加があったと思います。

その時参加された方から「会費を置いていくから会を作りましょうよ」という声がありました。会を作りたいと思いました。その後会報「むくろじ」となり「むくろじの会」が発足しました。もう、50 号になるのですね、編集ご苦労様でした。

これからも会員のみなさんにどんどん投稿していただいて盛り上げていきましょう。

「むくろじの会」「会報むくろじ」に出会えて U. T.



いつも発行されるのを心待ちにしております。

「MEN」と診断された時には、不安で、まさに路頭に迷ったような気持ちになっていました。

そのような中、「むくろじの会」「会報むくろじ」に出会い、同じ悩みを共有することができるようになったことは、患者本人、家族も含めて、どれだけ心のよりどころになったことか。

そして、同じタイプの患者さんとも出会え、離れて暮らしているものの、まるで兄弟姉妹のように思え、励まされています。

日頃から会の運営をされている役員の皆様、編集委員の皆様、そして医療関係者の皆様には、心から御礼申し上げます。

「むくろじ」50号、感無量です。

櫻井先生から受け継いだ「むくろじ」が、こんなに号を重ねることができたのも、MENに関わ

ってくださる医療関係の先生方、会員みなさんのおかげだと心から感謝しています。

私たち役員もそれぞれ病気を抱えながらも、なんとか協力しあい頑張っています。

これからもみなさん一人ひとりを結ぶ「むくろじ」でありたいと思っています。

みなさんのご意見、感想、投稿をおまちしています。メール・郵送などで事務局までお送りくだ

さい。

H29年度 会費納入のお願い

来年度の会費納入をお願いします。昨年の総会で年会費を3,000円に値上げすることが決定しておりますので、H29年度は3,000円を納めていただきますようお願いいたします。

総会に出席される方は、総会受付時に納めることも可能です。

欠席される方は4月から6月末までに会費の振込みをお願いします。

4月には、ゆうちょ銀行の振込用紙を事務局より郵送しますのでご利用ください。(振込み費用は会負担です。)

・年会費 3,000円

・振込先 ゆうちょ銀行

・口座番号 00580-7-69209

・口座名称 {漢字} むくろじの会

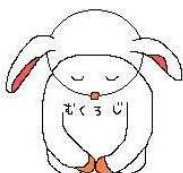
・口座名称 {カナ} ムクロジノカイ

他銀行からの振込みをされる方は以下の内容を指定願います。

・店名(店番) 059

・貯金種目 当座

・口座番号 0069209



編集後記

21号から会報の発行を受け継ぎ、今号で50号になりました。多忙でギブアップしそうな時もありましたが、続けてこれたのも、皆さんの原稿に励まされてのことと感謝しております。今後とも会報「むくろじ」をよろしくお願いします。(三重の寅)

むくろじの会事務局/むくろじ編集局

〒396-0111 長野県伊那市美篁(ミヌヅ) 5093-4 伊東 幸子宅

電話/FAX: 0265-78-3756

e-mail: kiiroicosmos@samba.ocn.ne.jp

むくろじのバックナンバーは <http://men-net.org/mukuroji/newsletter.html> からダウンロードできます。



むくろじの会のみなさんに贈る

第3回 So-Tomo

ミニコンサート

むくろじの会のみなさん、こんにちは!! So-Tomo です。
1年ぶりのご無沙汰です。今年で3回目となる松本でのミニコンサート。
今回もクラシックから童謡唱歌、懐メロまで心から楽しんでもらえる歌をいっぱい歌います。
どうぞお楽しみに。

日時 2017年4月15日(土) むくろじの会総会終了後
場所 長野県松本市浅間温泉 「みやま荘」

【演奏曲目】 乾杯の歌 箱根八里 ふるさと 他



So-Tomo(ソウトモ)

音楽大学声楽科出身の So と絶対音感をもつピアニスト Tomo の男性ユニット。
Tomo の華麗なる伴奏で So がクラシックから昭和の懐メロまで歌います。
また、キーボードとギター、パーカッションによる演奏やふたりの息の合ったハーモニーも聴きどころ。
これまでに、幼稚園や小中学校の音楽会、市民会館など地域のコンサートなど数多くのコンサートに出演し好評を得ています。
クラシックや童謡唱歌を歌った CD も絶賛発売中!!



H29年度 総会・勉強会・懇親会申込書

申し込み方法は3種類です。むくろじの会事務局にメール、ファックス、郵送をお願いします。

- メール： ・ 下記メールアドレスに送信してください。
kiiroicosmos@samba.ocn.ne.jp
- ファックス： ・ 下記番号に送信してください。
 電話/FAX：0265-78-3756
- 郵送： ・ 下記住所に郵送してください。
 〒396-0111 長野県伊那市美篤（ミズ）5093-4 伊東 幸子宅
 むくろじの会事務局
- 申込締切日： ・ 3月28日（火）

・該当する項目にチェックをしてください。

申込者氏名	性別	参加	会場までの交通手段	宿泊の場合
フリガナ	☐ 男性 ☐ 女性	☐ 総会, 勉強会 ☐ 夕食まで参加する ☐ 宿泊する	☐ マイカー ☐ 松本駅送迎希望	☐ 相部屋可 ☐ 相部屋不可
フリガナ	☐ 男性 ☐ 女性	☐ 総会, 勉強会 ☐ 夕食まで参加する ☐ 宿泊する	☐ マイカー ☐ 松本駅送迎希望	☐ 相部屋可 ☐ 相部屋不可
フリガナ	☐ 男性 ☐ 女性	☐ 総会, 勉強会 ☐ 夕食まで参加する ☐ 宿泊する	☐ マイカー ☐ 松本駅送迎希望	☐ 相部屋可 ☐ 相部屋不可
フリガナ	☐ 男性 ☐ 女性	☐ 総会, 勉強会 ☐ 夕食まで参加する ☐ 宿泊する	☐ マイカー ☐ 松本駅送迎希望	☐ 相部屋可 ☐ 相部屋不可
合 計	郵便番号、住所	電話	FAX / E-メール	
人	〒	携帯電話*		

* 松本駅に集合の方は連絡用に携帯電話の番号を記入してください。

・ 勉強会で特にお聴きたい内容や、会へのご要望がありましたら下記してにご記入ください。

・ 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は今回の事務処理のみに使用し、他には利用いたしません。
 本会のプライバシーポリシーはWEB (<http://men-net.org/mukuroji/privacypolicy.html>)
 にてご確認ください。